



株式会社総合電装

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年3月1日～2024年2月29日)



発行日：2024年3月1日

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**



ごあいさつ	1
環境経営方針	1
組織の概要	2
事業・製品の紹介	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価	4~5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果等の有無 並びに違反、訴訟	6
緊急事態対応訓練	6
代表者による全体の評価と見直し・指示	6
これまでの環境活動の紹介	7~8

■ ごあいさつ

ここ数年来、地球温暖化という人類全体に関わる問題がクローズアップされています。環境保全は、今や人類存続のための条件となっており、当社の企業活動においてもあらゆる観点から配慮すべき課題であると認識しています。

また環境保全を超え、持続可能な社会を構築するためには、あらゆる主体が積極的に環境への取り組みを行うことが必要です。

当社は事業活動を通して快適な空間を提供し、地球環境への負荷を回避、低減するために業界や各団体と共に連携し、これからも美しい地球を次世代に残していけるよう、社員一丸となって努力を続けてまいります。

■ 環境経営方針

＜環境経営理念＞

地球温暖化や環境問題が、持続可能な社会を構築するための重要課題との認識にたち、電気制御システムの販売・施工・設計・保守を通じて、環境に与える影響を把握するとともに、お客様に快適な空間・環境を提供し、それに伴う省電力化を計り、化石燃料の使用を少しでも軽減させ、地球温暖化の防止に努めてまいります。また会社及び部門ごとに環境目標を定め、見直しを行い、社員一人一人が自覚をもってエネルギー削減に取り組み、持続可能な循環型社会の実現と国際社会共通の目標（SDGs）に向け社員一丸となって継続的改善に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境関連の法律・規制・条例・協定を遵守し、環境保全活動に努めます。



2. 自社での取り組みや事業活動を通じて、エネルギーを削減することにより二酸化炭素排出量の削減に努め、地球温暖化防止に貢献します。



3. 省資源・廃棄物削減・リサイクルの推進に努め、循環型社会の構築を目指します。



4. お客様に対し、環境に配慮した製品・サービス及び、設計・施工の提案に努めます。



5. 災害など緊急時への対応力を強化します。



6. 地域の環境活動に積極的に参加し、地域への貢献とコミュニケーションを図ります。



7. 環境経営方針は、全従業員に周知・徹底し、社外に公表します。



制定日：2022年10月1日

代表取締役社長 高藤 俊信
代表取締役専務 忠津 登

■ 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名 株式会社総合電装
代表取締役社長 高藤 俊信
代表取締役専務 忠津 登
- (2) 所在地 本 社 大阪府大阪市東淀川区西淡路1-3-26
東京支店 東京都大田区蒲田4-42-1
- (3) 環境管理責任者氏名 責任者 営業管理部総務課長 林 靖子
及び担当者連絡先 TEL：06-6379-7565
担当者 営業管理部総務課主任 萬関 幸司
TEL：06-6379-7565
- (4) 事業内容 電気計装設備、空調自動制御設備等の販売・設計・施工・保守
- (5) 事業の規模 売上高 9 億
- | | 本 社 | 東京支店 | 合 計 |
|-------|-----------------------|----------------------|-----------------------|
| 従 業 員 | 47 名 | 4 名 | 51 名 |
| 延べ床面積 | 159.21 m ² | 58.24 m ² | 217.45 m ² |
- (6) 事業年度 3月1日 ～ 2月28日
- (7) 設立年月日 1998年3月10日

<認証・登録の対象組織・活動>

登録組織名 : 株式会社総合電装
対象事業所 : 本社 ・ 東京支店
対 象 外 : なし
活 動 : 電気計装設備、空調自動制御設備等の販売・設計・施工・保守

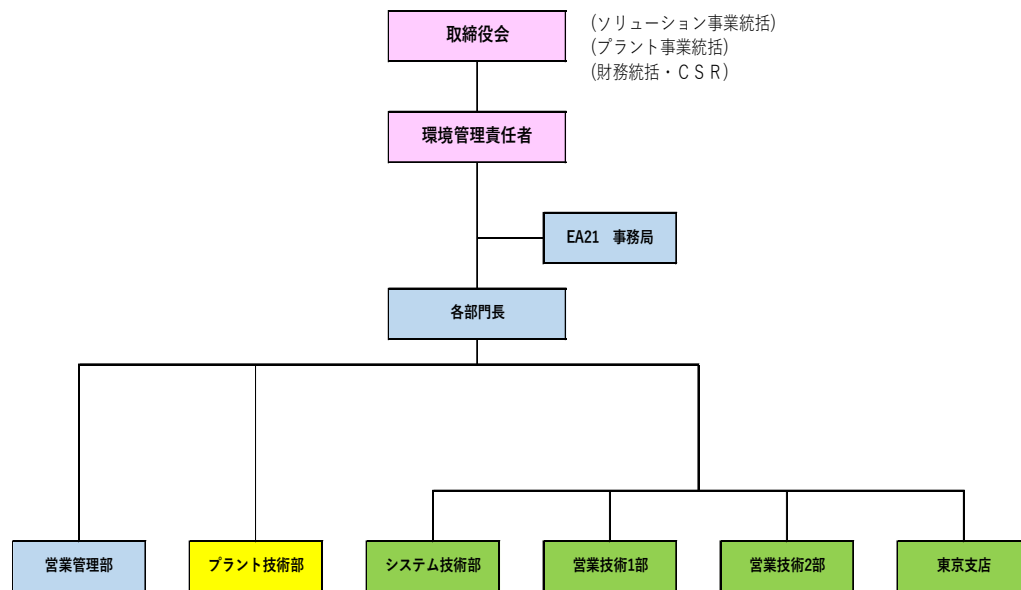


■ 事業・製品の紹介

- ・ アズビル株式会社 販売店
- ・ 自動制御設備、空調設備、電気設備の設計・施工
- ・ 空調機器、制御機器、制御盤の販売
- ・ 計装設備工事、調整、保守
- ・ 再生可能エネルギー設備の設計・施工
- ・ 植物工場設備の設計・施工・保守



■ 環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
取締役会（代表者）	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し - 環境経営目標・環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直し、指示 - 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境経営目標・環境経営計画書を確認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認
EA21事務局	- 環境管理責任者の補佐、EA21事務局 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 - 環境活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	- 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 - 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 - 試行・訓練を実施、記録の作成 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

■ 主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	57,346	58,940	52,003
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	1,923	1,690	1,325

※二酸化炭素排出係数 0.311 kg-CO₂/kWh
2021年度関西電力【A0272】R3年度実績。R5.5.26修正分(F)を使用。

■ 環境経営目標及びその実績

項目	単位	2021年	2023年		評価	2024年	2025年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	6,523	6,458	6,711	×	6,458	6,425
	基準年度比		99%	103%		99.0%	98.5%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	50,823	49,806	45,292	○	49,552	49,298
	基準年度比		98%	89%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	57,346	56,264	52,003	○	56,010	55,723
一般廃棄物の削減	kg	1,923	1,827	1,325	○	1,827	1,788
	基準年度比		95%	69%		95%	93%
産業廃棄物の削減	kg	0	0	0	○	0	0
	基準年度比		0	0		100%	100%

水道料、ガスは共益費として請求されるため測定できませんが
節水・節ガス等できる限り取り組みを続けています。

■ 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

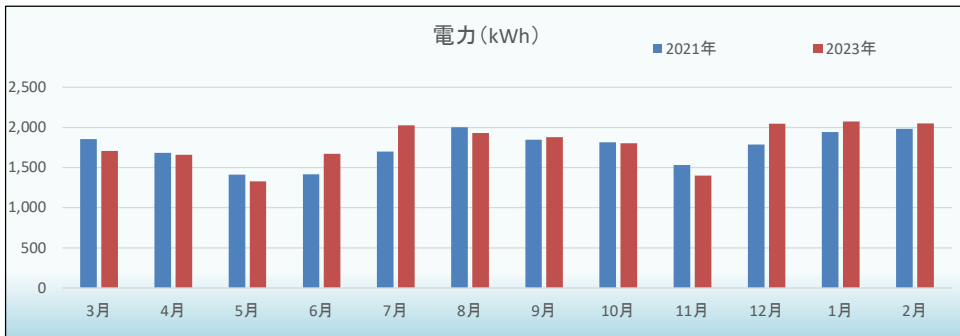
数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減



環境経営計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	SDGSの取組
- 数値目標 - 空調の適温化の実施(冷房28℃暖房20℃程度) - ノー残業デーの実施(毎週水曜日) - 不要照明の消灯 - 使用していない部屋の空調の停止	× △ ○ ○ △	第1四半期は目標が達成できていましたが、冷暖房を使用する季節になると使用量が大きく超過しています。社員数や事務所面積の増加等仕方のない部分もありますがやはり冷暖房の消し忘れが多いです。消し忘れ防止に対する具体的な方針を決めること。	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

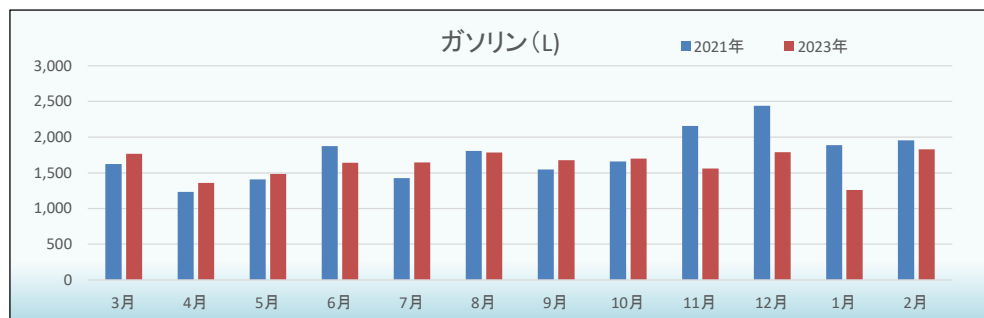


	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
2021年	1,855	1,685	1,411	1,417	1,700	2,002	1,848	1,814	1,531	1,786	1,942	1,983	20,974
2023年	1,708	1,659	1,328	1,671	2,024	1,931	1,880	1,805	1,401	2,046	2,075	2,050	21,578

自動車燃料による二酸化炭素削減



環境経営計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	SDGsの取組
- 数値目標 - アイドリングストップ - 効率的なルートで現場に向かう - 積載量を減らす - 公共交通機関の利用	○ ○ ○ ○ ○	今期目標を達成し喜ばしく思います。 今期は車両入替があり燃費の向上が大きく影響したと思われます。来期は社員が増え車を利用することが多くなると思いますが相乗りや公共交通機関の利用を促進し来期も目標達成できることを期待しています。	7 気候変動 気候変動に 適応する

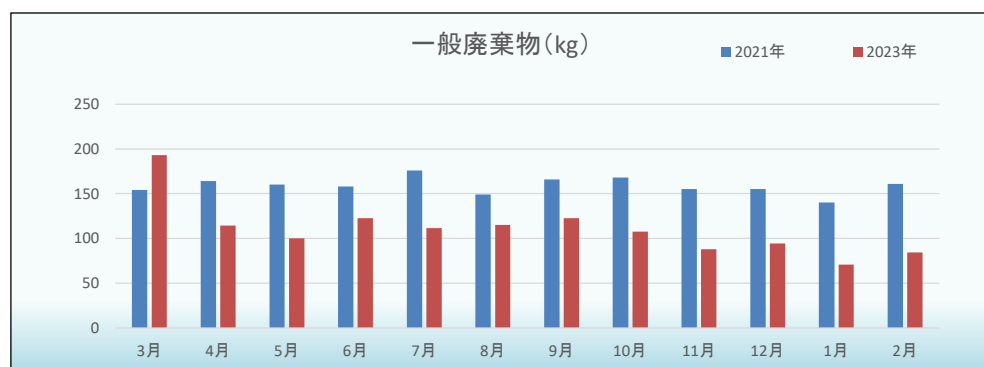


	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
2021年	1,624	1,233	1,409	1,875	1,426	1,806	1,548	1,657	2,158	2,435	1,888	1,957	21,016
2023年	1,768	1,359	1,488	1,642	1,648	1,784	1,677	1,699	1,560	1,790	1,261	1,829	19,504

一般廃棄物の削減



環境経営計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	SDGsの取組
- 数値目標 - 両面印刷や集約機能を使った印刷物の削減 - コピー機使用後のリセットによる印刷ミス防止 - 使用済み封筒や不要書類の再利用 - 帳票見直しによる印刷物の削減	○ ○ ○ ○ ○	今年度は廃棄物削減によく取り組めており下期からは100kgを下回る月が続いています。基準年から600kgの削減が達成できたのは正しく取り組めた結果です。来期のフリーアドレス化に向け更なる削減に期待しています。	12 つくる責任 つかう責任



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
2021年	154	164	160	158	176	149	166	168	155	155	140	161	1,906
2023年	193	114	100	123	112	115	123	108	88	94	71	84	1,325

産業廃棄物の削減

環境経営計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画	SDGSの取組
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	弊社は下請であるため、産業廃棄物は元請側に引き取ってもらっていますが、その分元請側の指示に従って適切な分別を行うとともに、作業ミスを防ぎ次年度以降も産業廃棄物の発生抑制に努めます。	
・分別の徹底	○		

環境に配慮した工事の推進

環境経営計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	SDGSの取組
・工事の効率化	△	工事の効率化は、不要なエネルギーを抑制し従業員の負担軽減やお客様の満足度上昇にも繋がります。日々改善できることがないか、従業員一人一人が考え、次年度以降も業務に臨みます。	
・作業ミスの防止	○		
・顧客クレーム削減	△		
・工期厳守	○		

課題を解決しチャンスを活かした取り組み

環境経営計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容	SDGSの取組
・技術の継承	△	人材の不足は簡単には解決する問題ではありません。まずは自分の技術をしっかり部下に伝えることが会社の発展に繋がります。部下の見本になるよう次年度以降も日々自主的な努力を続けます。	
・自社省エネ対策商品の宣伝	△		
・人材の確保	○		
・働き方改革	○		

■ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限。車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
自動車リサイクル法	営業用車両
廃棄物処理法	一般廃棄津及び産業廃棄物の分別管理
顧客要求事項	環境管理・品質管理・産業廃棄物の分別
消防法	消火器の維持・管理
グリーン購入法	事務用品・資材の購入
家電リサイクル法	パソコン・冷蔵庫

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

今期(2023.3月～2024.2月)は外部からの苦情、要望もありませんでした。

実施日： 2024年2月29日

■ 緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 12月16日	■実施場所 本社事務所
■参加者： 32名	■実施内容： ・通報訓練、避難訓練
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
非常階段の場所や火災発生時の対応方法について事務所で説明・訓練し実際に非常階段で避難する訓練を実施しました。前回より参加人数も増え、より多くの従業員に訓練が実施できました。	
■実施状況の様子	
 	

■ 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2024年3月1日

今期は目標に掲げていた、ガソリン使用量について大きく削減に成功しました。車両入替による燃費の向上や、公共交通機関利用促進が上手くいった結果だと思われます。一般廃棄物は前年よりさらに高い削減率を達成できました。来期にはいよいよ事務所のフリーアドレス化が始まります。紙書類の廃棄に伴い一時的に廃棄物が増えるかもしれませんが、今後の廃棄物を減らす上で、重要な取り組みとなります。営業管理部が中心となり、廃棄物抑制に向け取り組みを進めること。電力消費量は残念ながら目標を達成できず、前年を上回る結果となってしまいました。事務所の敷地面積が広がり、人数も多くなっていく中、目標を達成するのは困難ではありますが、冷暖房の切り忘れ等不要な電力消費量を抑えれば達成できないことはないと思います。各自周知を徹底し、最終退出者は電気・空調が切れているか確認するよう指導すること。来期は環境経営方針・実施体制につきましては変更ありませんが環境経営目標の電力削減量のみ当年と同じく99%を目標とします。少しでも電力量削減に繋がる具体的政策を考え社員一丸となって目標達成に向かい取り組むこと。

環境経営方針
環境経営目標・計画
実施体制

☒ 変更なし
☐ 変更なし
☒ 変更なし

☐ 変更あり
☒ 変更あり
☐ 変更あり

■ これまでの環境活動の紹介

◆ 感染症対策対応手順書の作成

新型コロナウイルスの流行もひと段落してきましたが業務上、来客や打合せが多い事もあり感染症対策手順書を作成しました。定期的に手順の確認や物品の不足がないかを確認し感染症拡大防止に努めております。

各
目
検
温
し
て
記
入
し
て
く
だ
さ
い。

高藤	36.0	35.7	35.8	36.2	36.1
辻井	36.2	36.1	36.0	36.1	36.0
北川	36.1	36.1	36.0	36.2	36.1
藤原	36.0	36.0	36.1	36.2	36.0
上置	36.1	36.0	36.2	36.3	36.4
小寺	36.2	36.1	36.0	35.9	36.2
森本	36.0	36.2	36.3	36.0	36.0
森本	36.1	36.2	36.1	36.0	36.1
大西	35.8	35.9	35.9	36.0	36.2
林	35.9	36.0	36.1	36.0	35.9
富加見	36.3	36.4	36.5	36.3	36.4
大島	35.9	36.3	35.7	35.8	35.9
森田	36.1	36.1	36.2	36.1	36.1
三原	36.2	36.3	36.1	36.1	36.2
田崎	35.8	36.2	36.1	35.8	35.7
忠津 登	36.3	36.2	36.3	36.2	36.1
横田	36.0	36.0	35.9	36.0	35.9
矢倉	35.9	36.1	35.9	36.2	36.4
櫻井	36.2	36.1	36.0	36.0	36.2
忠津和	35.9	36.2	35.8	35.9	36.1
高岡	36.1	36.2	36.3	36.2	36.3
末森	35.5	35.5	35.6	35.5	35.4
高治	36.2	36.1	36.1	36.0	36.0
杉岡 孝	35.8	35.9	35.9	36.0	36.1
田中	36.2	36.1	36.1	36.3	36.2
鳥取	36.3	36.0	36.2	36.2	36.1
川畑	36.1	36.0	36.0	35.9	36.1
日高	36.4	36.3	36.4	36.2	36.3
三上	35.9	36.0	36.0	35.8	36.1
小西	36.3	36.2	36.4	36.3	36.4
白谷	35.8	35.9	35.9	35.9	35.8
若松	36.2	36.2	36.1	36.2	36.1
東谷	36.1	36.0	36.0	36.1	35.9



◆ アップサイクル活動

使えなくなった作業着が日よけやポーチとなって生まれ変わりました。アップサイクルとは不要となった廃棄物にデザインやアイデアといった付加価値をもたせ新しい製品に生まれ変わらせることです。リサイクルより製品をそのまま活かすため環境に優しく寿命を長く引き伸ばすことができ近年関心が高まってきています。弊社では不要となった作業着をまとめて提供し少しでも環境保全に繋がるように取り組みを続けています。



建設作業服アップサイクルへ。

ご協力いただきありがとうございます

“建設作業服のもったいない”をテーマにしたアップサイクルです。

スプレーや汚れ、色あせなど、汚れてしまったり使用が少なくなった作業服、
でも捨ててしまうのは、なんだかもったいない...。
そんな建設作業服たちを生まれ変わらせます。

裏地の色とり
シンプルなデザインにしてみました。

完全無染染るための少くお洒落にしていますが、
ドットやストライプに作り替えてお届けしています。

一緒に仕事を頑張ってきた作業服だからこぎ、

役目が終わっても、末永く使ってもらいたい。

そんな思いから生まれた、環境にやさしいオリジナル商品。

頑張っている自分や仲間へのプレゼントとして、ぜひご利用ください。

◆ アグリプラント事業

食糧自給率が低く人口も減少傾向にある日本において食糧事情は看過できない問題となります。弊社では自動制御システムを利用し場所や人手を必要としない新しい農業の仕組みを開発し事業としての成立を目指しています。写真では冷蔵庫の中で野菜を育てる実験をしています。できた野菜は社員に振舞いました。

